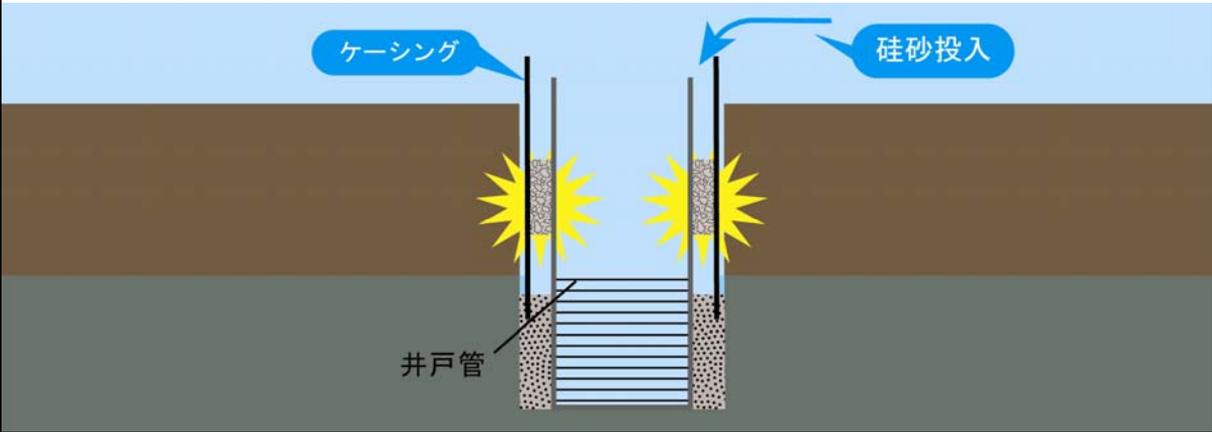


不具合事例

整理番号 C-05-007

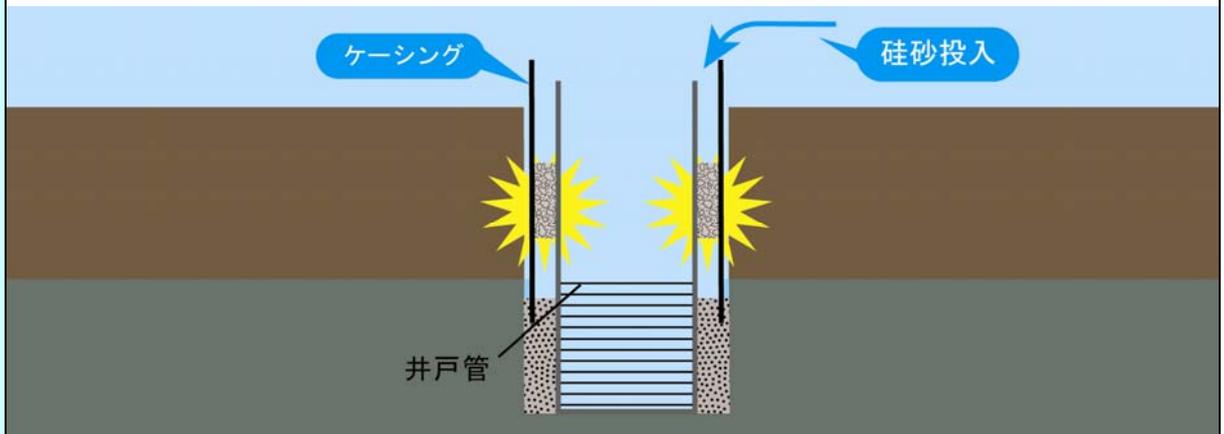
タイトル	井戸設置ボーリングの際、掘削径が小さくて硅砂が充填できない！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center; color: red;">「狭くて入るか微妙だけどやってみるか」は危険！</p> 		
作業内容	井戸設置		
使用機器	ボーリングマシン		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 井戸設置の際、VP50の井戸管に対してφ86mmのケーシングを使用したが、井戸管とケーシングの間隙が狭かったため硅砂が途中で詰まり、所定深度まで充填できなかった。 			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 挿入する井戸管の径に対し、井戸材料を確実に充填できるような余裕を持った掘削径を選定・指示する。(計画者) 作業開始前に、井戸管の径と、ケーシングの径の確認を行う。(監督者、作業員) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 水道水など観測に影響のない水を入れて井戸管を揺らす等、詰まった硅砂を落とす。(作業員) (水道水等を入れた場合、入れた量を考慮して井戸洗浄を行う) 詰まりが解消しない場合は、大きな径のケーシングで拡孔する。(監督者・作業員) 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 帯水層が複数ある場合、二段・三段ケーシングによる掘削が必要なケースもあるので、掘削方法に応じた機材の準備とボーリングマシンの選定が必要である。 掘削径によってはボーリングマシンの仕様が変更となるため、事前に工期や費用面について発注者と十分協議する必要がある。 観測対象とする深度に透水性の充填材(硅砂)があるかどうかを、適時、検尺する必要がある。 拡孔に伴いケーシングを一度抜管する際には、二次汚染が発生しないような対策を講じる。 			
関連法規等、出典	土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン 暫定版 Appendix7_1		
キーワード	井戸設置ボーリング、掘削径、ケーシング径		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

井戸設置ボーリングの際、掘削径が小さくて井戸材料が充填できない！

説明図

「狭くて入るか微妙だけどやってみるか」は危険！



作業内容

井戸設置

指示事項

- ・挿入する井戸管の径に対し、井戸材料を確実に充填できるような余裕を持った掘削径を選定する。
- ・作業開始前に、井戸管の径と、ケーシングの径の確認を行う。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン